

問 1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。(20 点)

-
- ①定年後のセカンドキャリアについて、いくつかの選択肢があるがいろいろまよって判断がつかない（CL1）。
 - ②定年後のことは何も来なかったので、やっと本腰を入れて考え始めた（CL2）
 - ③再雇用制度は気が進まないが、他社で再就職するとなると、自分で探すのは大変そうであるし、通用するか不安もあり、どちらも給与が半分以上になる（CL3）
 - ④海外のプロジェクトに契約社員として勤務したいという希望があるが、親の介護のことなどから、奥さんに反対されている（CL4）
 - ⑤関係先の会社に役員で迎えられる同期の友人を、気楽でうらやましく思っている（CL6）
-

問 2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ。(20 点)

＊①自己理解、②仕事理解、③長期のキャリア・ライフプラン、④コミュニケーション、⑤性格や考え方の特徴（自己肯定感・自己効力感）などで、考えていきます。

-
- ①自己理解に関して：自分の職務経験から得られたスキルやそれを活かしたセカンドキャリアの選択という視点に欠けている。
 - ②仕事理解に関して：セカンドキャリアの選択について、再雇用制度での働き方や他の会社での働き方、海外プロジェクトでの働き方について詳細な情報を入手していない。
 - ③長期のプランに関して：定年後の過ごし方について、長期的なキャリアプランや働き方について展望を有していない。
 - ④コミュニケーションに関して：定年後のセカンドキャリアについて、会社の人事部や奥さんと話あっておらず、社内及び家庭内のコミュニケーションの面で問題がある。
-

問 3 あなたは、上記 2 つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、②どのようなことを実施したいか、あなたの具体的な方策を記述せよ。

＊目標は、問 1 と問 2 を総合したものであること（問 1 で示した「相談者が訴えている問題」と問 2 で示した「キャリアコンサルタント視点で捉えた問題」を解決する目標であること）が必要

＊「方策」は、その「目標」と関連づけながら、具体的に、もれなく記述

【目標】

定年後のセカンドキャリア：短期と長期のキャリアプランを踏まえた選択やこれまでの自分の職務経験を活かした選択⇒人事部や奥さんともコミュニケーション⇒適切な意思決定ができるように支援する。

【具体的な方策】

- ①自己理解について：職務経験を棚卸し⇒自分の能力や技能、体力や適性、およびこれからやってみたいことやそこで求められる要件などを考慮⇒セカンドキャリアの方向性を考えてもらう。
 - ②仕事理解について：継続雇用や海外プロジェクトでできる仕事ややりたい仕事、出来る仕事があるかを考えてもらう。
 - ③長期のキャリア・ライフプランについて：退職後のワーキングキャリアやワークライフバランス、親の介護のことについても考える⇒選択をどうするかを考えてもらう。
 - ④人事部や奥さんとのコミュニケーションについて：セカンドキャリアの選択という重大事項⇒人事部や奥さんと話し合う中で得られる情報も参考にしながら意思決定できるように支援する。
-